

# 芦屋町職員の給与・定員管理の状況を公表します

令和6年度決算統計調査と令和7年給与実態調査・定員管理調査(4月1日)の資料に基づき、芦屋町職員の給与と定員管理などの状況を公表します。詳しくは町のホームページで4月末までに公開する予定です。  
 ▷問い合わせ 人事係 (☎223-3574)

③その他の手当 (令和7年4月1日現在)

手当名	内容と支給単価	1人当たりの平均支給年額 (令和6年度決算)
地域手当	(給料+扶養手当+管理職手当)×支給割合(2%) 【参考】令和6年度:芦屋町:0%、福岡市:10%	349,770円
特殊勤務手当	徴税特殊勤務手当、ボートレース事業特殊勤務手当など	234,960円
扶養手当	子11,500円、配偶者3,000円、その他6,500円 【参考】令和6年度:子10,000円、子以外6,500円	232,537円
住居手当	借家 上限28,000円	258,962円
通勤手当	公共交通機関 上限55,000円 自家用車など(2km以上) 2,000円~24,400円	61,072円
管理職手当	49,600円~72,700円	790,042円
時間外手当	正規の勤務時間外の勤務	349,115円

## 1. 総括 (普通会計決算)

①人件費の状況 (令和6年度普通会計決算)

住民基本台帳人口 (令和7年1月1日)	歳出額 (A)	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	前年度の人件費率
1万2728人	94億9855万円	14億8123万円	15.6%	13.1%

※普通会計とは、一般会計と給食センター特別会計のことです。  
 ※人件費には、特別職の給与と報酬、一般職の給料や諸手当のほか、に共済組合負担金などが含まれます。

②職員給与費の状況 (令和6年度普通会計決算)

職員数 (A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
	給料	職員手当	期末勤勉手当	計 (B)	
153人	5億6462万円	9800万円	2億1075万円	8億7337万円	571万円

## 2. 平均給与月額状況 (令和7年4月1日現在)

区分	一般行政職			
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
芦屋町	41.4歳	307,200円	371,801円	337,762円
国	41.9歳	332,237円	-	414,480円
区分	労務職			
	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
芦屋町	48.6歳	291,300円	323,300円	304,100円
国	51.3歳	294,567円	-	337,907円

※平均給与月額とは、給料月額(基本給)と扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を平均したもので、平均給与月額(国ベース)とは、国家公務員と同基準(時間外勤務手当などは含まない)で額を平均したものです。

## 3. 初任給の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	一般行政職		技能労務職
	大学卒	高校卒	高校卒
芦屋町	220,000円	194,500円	211,000円
国	220,000円	188,000円	-

## 4. 手当の状況

①期末手当・勤勉手当 (令和6年度支給割合)

支給割合		役職加算
期末手当	勤勉手当	
2.5月	2.1月	5~15%

②退職手当 (令和7年4月1日現在)

区分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額	1人当たりの平均支給額
自己都合	19.67月分	28.04月分	39.76月分	47.71月分	81万円
勸奨・定年	24.59月分	33.27月分	47.71月分	47.71月分	2099万円

※1人当たりの平均支給額は、令和6年度に退職した職員に支給された平均額です。

## 5. 特別職の報酬などの状況 (令和7年4月1日現在)

区分	給料	退職手当	期末手当
町長	744,000円	給料月額×在職年数×450/100	6月期1.525月 12月期1.525月 (特別職加算20%)
副町長	621,000円	給料月額×在職年数×300/100	
教育長	581,000円	給料月額×在職年数×240/100	
事業管理者	562,000円	給料月額×在職年数×240/100	

区分	報酬	退職手当	期末手当
議長	345,000円	該当なし	6月期1.45月
副議長	318,000円		12月期1.45月
議員	298,000円		(特別職加算20%)

## 6. 職員数の状況 (各年4月1日現在)

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数(人)	
		令和6年	令和7年		
普通会計部門	一般行政部門	議会	3	3	-
		総務・企画	57	57	-
		税務	11	11	-
		民生	28	27	△1
		衛生	11	11	-
		農林水産	5	6	1
		商工	5	5	-
		土木	16	17	1
		計	136	137	1
		教育部門	17	18	1
小計	153	155	2		
公営企業部門	下水道	4	4	-	
	ボートレース	22	22	-	
	その他	6	4	△2	
	小計	32	30	△2	
合計		185	185	-	

※職員数は一般職に属する職員数で、退職者、育児休業者、派遣職員を含みます。

# 芦屋歴史紀行

その三百五十八

## 芦屋歴史の里 新たな収蔵資料 後編

芦屋歴史の里の収蔵品のほとんどが地域の皆さんからの寄贈によるものです。令和7年も寄贈の申し出をいただき、新たに資料を収蔵しました。前回に引き続き、令和7年度に新収蔵した資料を紹介します。

### ●岩崎天外「梅」

岩崎 天外は、芦屋町出身の南画家です。守田 洞山や吉嗣 拜山に師事しました。また、芦屋町郷土史研究会初代会長として、郷土の歴史文化の発展に大きく関わった人物でもあります。天外は、「梅の天外」と称されるほど、梅を題材にした作品が多くあり、本作もその一つです。本作は、昔、光明寺下にあった薬商 塩田屋に伝わった掛軸で、塩田屋は天外と交流があったとのこと。



岩崎天外「梅」

### ●軍服一式

第二次世界大戦の際、芦屋町から南方へ出征し、インパール作戦に参加された人の遺品です。軍服、帽子、外套、背囊など一式がすべてそろい、きれいな状態で保管されていました。戦後80年の節目の年に寄贈いただけただけことは、平和の尊さを考える良いきっかけになりました。



軍服

### ●福岡県史資料 全13冊

伊東 尾四郎氏が編さんした、江戸から明治にかけての福岡県の民政資料や福岡県の歴史研究の基礎資料を収録した資料です。昭和7（1932）年〜昭和18（1943）年にかけて発行された正編10集、続第1集、続第4集の12冊と昭和48（1973）年に発行された別集1冊の計13冊が寄贈されました。福岡県全体の



福岡県史資料

歴史を知るうえで非常に貴重な資料です。

### ●芦屋の空也上人像 附関係資料と安長寺民俗資料群

安長寺は、船頭町に所在した時宗の寺です。江戸時代初期ごろから芦屋役者によって祀られていた空也堂がのちに安長寺となり、現在に至ります。由緒ある寺の一つですが、この度、残念ながら廃寺となりました。本尊である空也上人像が福岡県指定有形民俗文化財に指定されるなど、ゆかりのある文化財は非常に歴史的価値の高いものです。これらの文化財は全て、芦屋歴史の里で受け入れられました。このため、これらの安長寺民俗資料群は、令和8年度秋に特別展を開催し、詳しく紹介する予定です。



芦屋の空也上人像

(芦屋歴史の里)

## 編集後記

▼まちのわだいに掲載している「はしもとえつよさんのたのしいえほんのおはなし」を取材しました。講演会は、終始笑いが絶えず、会場は温かな空気に包まれていました。参加者の「思いが伝わり、心が温まりました」この言葉が胸に残りました。広報の作り手として、思いを届けたいと思います。（伊藤）

▼二十歳のつどいの取材に行き、これからの未来に目を輝かせている二十歳の皆さんを見ていると明るい未来に向かっていくフレッシュさを感じました。私自身、二十歳2周目を迎え、どんよりとした気分の日常もあつたりする今日この頃ですが、二十歳の人たちに学び、キラキラとした気持ちでいたいと思います。（篠塚）

▼2月10日から芦屋歴史の里にて映画『トラ・トラ・トラ!』の企画展示を行っています。芦屋の海岸に、実物大の戦艦などのセットが製作されたと聞くととてもすごいことであり、写真や映像で見ると何倍もの迫力があつたのだと思っています。3月29日まで開催しているので、芦屋歴史の里まで足を運んでみてはいかがでしょうか。（手塚）

